

第152回 人間サイエンスの会(NS) 講演会

一般の方も、参加申込可能。当会は、衆参約20名の議員が加盟している、超党派の国会議員連盟です。
要 事前申込・振込。定例第3木曜。詳細HP: <http://npo-iri.org/> HP左上人間サイエンスの会とは。

日時 平成25年 **5月16日(木)** 午後3時~5時

講演後、同階食堂にて7時まで自主交流会(希望者のみ:要1品以上食券注文)

場所 衆議院第一議員会館 **大会議室** 丸の内線「国会議事堂前」下車2分

演題 **科学と宗教のはざま**

講師 **天外 伺郎** (本名: **土井利忠**)氏 工学博士

ホロトピック・ネットワーク 代表、元ソニー上席常務・研究所長

<http://www.holotropic-net.org/>



講師からのメッセージ →詳細 <http://npo-iri.org/>

昨年11月6、7の両日、ダライ・ラマ法王と日本の科学者との対話が行われた。これは、1984年11月6-10日(奇しくも同じ日)に筑波大学とフランス国営放送の共同企画で「科学技術と精神世界」というシンポジウムが開かれて以来の、まじめな「科学と宗教」の対話であったように思う。30年前は、勃興してきた量子力学の内容が、宗教の説く世界観と似ている事を、F・カプラ、D・ボームなどの物理学者が指摘し、科学が大きな変容をするのではないかという期待が大きかった。私自身も、ボームの「暗在系」とユングの「集合的無意識」が似ている事から、それを「あの世」と名づけて独自の仮説を展開してきた。しかしながら、いくら似ていても科学にはならず、昨年の催しは、この30年で科学と宗教の距離が、むしろ開いてしまった印象に終わった。そこに横たわる根本的なギャップについてお話しする。

ご参加法: 事前申込・振込制: 参加申込、会費振込、返信メール受取、当日受付へ

参加申込: 下記 NS 世話人にメール nspoiri@gmail.com で、または Fax で、下記項目を:
NS 演者名参加希望、ピラを見てなど、氏名ふりがな、自宅〒住所、詳細社名・肩書き(主婦は主婦と)、
参加希望動機、を明記。

または、<http://npo-iri.org/> から打ち込み。詳細は左のホームページご参照。

参加申込・問合せ先: NS 世話人 山本 景(けい) nspoiri@gmail.com Fax 043-255-9143

電話 080-5401-3837 * 当方が担当していますので、**議員会館や議員事務所には電話しない事。**

会費振込 3,000 円(1回のみ=当月会員)→その他、年会費を払う**割引制度も** <http://npo-iri.org/>

お振込み先: 下記 または に:

1. ゆうちょ銀行 10550 8 552381

名義: 特定非営利活動法人国際総合研究機構 NS 部会

カナ: トクヒ)コクサイソウゴウケンキョウキコウ エヌエスブカイ

2. みずほ銀行(0001) 稲毛支店(336) 普通 4049624

名義: 人間サイエンスの会 カナ: ニンゲンサイエンスノカイ

・団体名にてや複数名分をお振込みの場合は、必ず、「会費の内訳」として、
振込目的、内訳、振込名義団体名、参加者全員の個人名、連絡先、などをメールに明記。

・一度納入された会費は、返金されません。

ただし、当月会費は、講演会3日前までにメールにて欠席の連絡があり、次回以降に回すか、
ご推薦の代わりにの方の申込があれば、振替えます。

・当お振込は、参加費でなく、共催・運営 NPO 法人国際総合研究機構(IRI=アイリ) NS 部会への一部ご寄付いとなり、NS の運営のみに使用されます。国会議員連盟「人間サイエンスの会」(NS)には一切入金されません。

入館受付: 2:20~2:30 の間に会館玄関左側ホール中央机専用受付にて。

1. 運転免許証・パスポート等の顔写真付公的証明書、2. 振込証拠、3. 返信メールを、ご持参ご提示。

服装: 背広・ネクタイ または 同等、**遊着は禁止。**

交通: 東京駅から 地下鉄丸の内線3駅目「国会議事堂前」徒歩2分 <http://npo-iri.org/> 左メニュー参照。

主催: 超党派 国会議員連盟 会長 山本 有二 衆議院議員(元 金融大臣・再チャレンジ大臣)

共催・運営: NPO 国際総合研究機構(IRI) NS 部会 <http://npo-iri.org/> <http://www.a-iri.org/iri-jp/>

NS 世話人代表 山本 幹男(医学博士・工学博士) nspoiri@gmail.com 090-9232-9542